

令和8年度公開プロセス結果（概略版）

府省庁名 国土交通省

事業名 密集市街地総合防災事業

事業の概要

地震時等に大規模な延焼による大きな被害の発生が予想される密集市街地において、官民が連携した協議会の策定する密集市街地総合防災計画に基づき、市街地の安全性向上に向けた取組を総合的に行う事業に対して支援する。

公開プロセスにおいて踏まえられた「点検の視点」※

※「租税特別措置・補助金見直しに関する関係閣僚等及び副大臣会議（第2回）」において示された、国民からのご提案を踏まえた各府省庁における自己点検の視点。
（参考）[各府省庁における要求・要望に向けた自己点検](#)

- 補助金依存体質を改め、自治体・事業者の自立や成長につながる仕組みに改めるべき
- 効果検証を強化し、成果に基づく制度運用へ転換すべき

有識者からの主な指摘事項

- 密集市街地の整備手法の類型毎に、事業を実施した自治体の事例（事業前後の写真や事業遂行のための創意工夫）を詳細に整理し、進捗の捗々しくない自治体に配布することなどによって、自治体が取り組みやすいように後押しする必要がある。
- ソフト対策、ハード対策ともにやるべきことはやっており、進捗も順調に思える。一方で、進捗の芳しくない地区もあるため、国として、地区に応じたソリューションの提案を行う等より積極的な関与を考えてもよいのではないか。
- 効果発現経路が単線的に設定されている事業が多い中で、アクティビティごと（調査、ハード対策、ソフト対策）に経路を分ける改善が行われたことを前向きに評価。全体の進捗も見えるようになった。論点②におけるタイプ（型）別の効果等の説明も優れたもの。他事業のレビューの際にも参照すべき好事例。